

ドローン・空間情報

株式会社テラ・ラボ



登壇者名	松浦 孝英
役職	代表取締役
連絡先	info@terra-labo.jp 0568-53-4501



設立 (西暦)	2014年3月
本社所在地	愛知県春日井市不二ガ丘三丁目28番地
会社HP	https://terra-labo.jp/
事業プラン名	長距離無人航空機をはじめとするドローンを活用したクラウドGIS情報支援プラットフォーム運用の社会実験
事業プラン概要	<p>令和2年度福島県地域復興実用化開発等促進事業において、「衛星通信を活用した長距離無人航空機による大規模な災害発生時における高高度広域三次元モデル生成を可能とする情報共有システムの実用化に向けて」というテーマで採択を受け、共有情報を収集する長距離無人航空機本体の研究開発を進めているが、これの事業化（収益化）を目指すべく、本事業において、収集した情報を共有するシステムの開発を上記事業名で進行する。</p> <p>このテーマで想定している大規模災害は南海トラフ巨大地震であるが、このレベルの大規模災害は当然ながら頻繁に発生するものではなく、収益を上げるビジネスモデルとしては成立しにくいと見られ、恒常的にシステムを運用して収益を上げながらシステムの運用精度を高めて大規模災害の備えとしておくことが肝要だと考える。そのため、本事業では、研究開発成果をビジネスモデルとして構築するというところに主眼を置く。</p>
福島/本プログラム にかける想い	当社は、福島県の復興支援補助金である「地域復興実用化開発等促進事業補助金」と「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金」の採択を受けて、長距離無人航空機及びその運用システムの開発と実用化に向けた自社の拠点整備を行っています。本プログラムでは、これらの事業化（収益化）を目指し、南相馬市を拠点にして事業展開することで地域の活性化と雇用創出に寄与したいと考えています。
イベントにご参加 いただく方への一言	福島アクセラレーションプログラムに採択いただいたことで、クラウドGISの実装化を早期に実現することができました。昨年度、福島県南相馬市が被害を受けた台風19号において取り組んだ社会実験の検証内容を実装化できることに大変大きな意義を感じています。今後、地域行政との連携を行い、実装化したシステムの運用に向けて検証を行うことで、他展開が可能となることが想定されます。貴重な機会をいただき、心より感謝いたします。